

(実験の途中経過)



氷はとけて、固体から水という液体に変化し、やがては蒸発して、気体へと変化していきます。しかし、ドライアイスは、白い煙のようなものが現れて、時間とともに、小さくなり、やがて、何も残らなくなってしまいます。

その2の実験結果



しぼんでいたビニル袋が時間とともにどんどんふくらんでいきます。常温では、ビニル袋の中のドライアイスが、固体から気体に変ったことがわかったかな。

その3の実験結果



火はすぐに消えてしまいます。ドライアイスが変化した気体は、ものを燃やす働きがないことがわかったかな。

このほかにも、ドライアイスについて本やインターネットで調べてみよう。実はドライアイスとは、二酸化炭素が固体の状態になったときの呼び名であることがわかるはずだよ。